

園児を送る（幼稚園の立場から）

小学校に望むこと



徳 久 孝

娘を嫁づけた母親が、どんなに先方がよくしてくれても、更により以上の幸福を願うように、一年なり二年、精魂を打ちこんで育てた幼児を送り出した小学校に対しても、少しでも子供が幸福に暮せる様にといい事を、私達は望んでやまない。小学校側から考えられたら、その様な事は「ぜい沢だ」と思はれる程、あゝもしていただきたい、こうもしていただきたいと願うのはやはり親心である。近來幼年教育として幼稚園から小学校一、二年までの教育が熱心に研究され、幼

稚園と小学校の先生方が一諸に話し合ひ機会を持たれているのは、誠に嬉しい事と思う。然し此の際私達から言はせればまだ〳〵小学校の先生方の熱が足りない。もつと〳〵来て下さればよいのにと痛切に感じる。

然し全国的に見ても、小学校に比較して幼稚園の数はまだ〳〵微々たるもので、就学児の十六・八五パーセントが幼稚園教育を経て来たに過ぎない状態である。そこに幼年教育としても大きな問題があるわけである。幼稚園から小学校に行つた子供と、幼稚園に行かなかつた子供の差について調査した際にも、東京都に於てすら、幼稚園を経た者が級に一名か二名という学校もあり、級に一、二名では比較調査もし様なく、個人差の問題になつてしまふ。幼稚園はブルジョア的の物であるという観念は、漸く一般社会から考え直されて来た様に見えるが、幼稚園から来た者は我まゝだ、甘やかされてゐる、出しゃばるといふ様な評はまだ時々耳にする。数多い幼稚園の中には、まだ本来の幼児教育からずれて父兄の御氣

嫌とりをしたり、有名校の入学率に熱心な悲しむべき幼稚園も無いとは言えないが、「幼稚園からの子は出しゃばりである」と解さずに、積極的な面を学習に利用してほしいものと思う。

◎先づ幼稚園を知っていたべき度い。

これが私達が小学校の先生に御願いする第一である。お互の教育の本当の姿を知って研究し合うのが第一であるから、幼稚園からも度々小学校を参観して、今の学校がどの様な教育をしているかを知り、小学校の先生にも幼稚園を見ていたべきたい。根本の教育方針には勿論差いのある筈はないが、幼稚園が生活指導を中心として、生活の中で民主社会人としての基礎を培っている所を見ていたべきたい。併設園のある学校はまだくく連絡を取る機会もあるが、ない所は是非ゆっくりと参観され、それを本にして話し合いの機会を持ちたい。

◎連絡会及び合同研究会を持ちたい。

小学校に入る前には、どこでも幼稚園と小学校との連絡会が持たれ、幼児の引つぎのな事が行はれると思うが、それだけにとどまらず、一学期に一回位は其の後の子供の變化等につき連絡の会をしたい、それと同時に合同で研究する会を持ちたい。或は音楽について、或は絵について、小学校ではどの様にやっているか、幼稚園では……と、お互に一つ教科を

中心にしての会を持つのも非常によいと思う。

◎指導要録を重要視していただきたい。

近年、幼稚園から小学校に進学の際、指導要録を提出する事になっているが、それがどの程度利用されているかという点、まだくく十分でない様に思う。入園当初の連絡会の為でなく其の後の變化を知る為に、いつも身近において参考にされたいと思う。

◎幼稚園で賤けた事を続けさせてほしい。

幼稚園で生活指導として賤けている、手を洗う事、食後の歯磨き、便所の使用法、遠足に行つた時の食事の後始末、乗物の乗り方等々、色々の事が学校へ行く途たんに逆戻りしてしまふ。幼稚園の一年間ではまだ十分身につくという所までいっていないので、先生の注意が無いと忘れ勝になる。便所に行つても手も洗はず、遠足に行けばお菓子を食べながら歩く。紙屑は散らし、ばなしという状態をよく見る。どうぞこういう事は低学年の間にしつかりと仕上げをしていただきたい。遠足の時往々見かけるが、先生は先生で集り、生徒は勝手に食事をするという様な事だに、やはり子供の中に入つて指導してほしいものと思う。これと同じ様な状態が学校の休み時間にある。幼稚園は朝の登園からお帰りまで、先生の目がはなれる事はないが、学校の休み時間は全く放任状態にある。此の間にけんかをしたり、取組み合いをしていて

も、誰も見ていない者が無い。授業時間だけが教育の場ではない。休み時間も先生が共に遊び、又話し合いをする時間として子供の中に入り、一方では親しみを増し、又一方では子供をよく観察する機会にしてほしいと思う。低学年は教科中心でなく、もっと生活中心の教育であつてよいと思う。

◎子供を退屈させない様に。

小学校へ行つたら、とあこがれを持って張り切っていた子供達が、四月の初め「つまらないやあ——」と、よくうたえて来る。型の如く坐らせられて授業を受ける。少し積極的に出れば叱られる。絵を書くのも小さい紙、粘土も片手に一にぎりしか渡されない。これでは今までのび〜と生活して来た幼児は退くつしてしまふ。或時はもつと大きな絵を書かせてもよいのではないか。大きな粘土で協同製作をして、それが教材につながるを持って出来る筈である。子供の持つてゐる力を充分に出し切れる様な機会を与えてほしいものと思う。

◎カリキュラムを一貫したものに。

前の連絡をもつという事にも、子供を退屈させないという事にも関連して行くが、併設園のある所では、幼稚園と小学校一、二年とが一貫したカリキュラムを作つてやる様にしたらば非常によいと思う。そうする事によつて其の間に溝もなくなり、子供が急に生活様式が変わつて苦勞する事もなくな

ると思う。然し、これにはまだ〜色々研究しなければならぬ点も多々あると思うが、今後は非実行されたいものと思ふ。

(番町幼稚園長)



## 卒園児を受持たれる 親愛なる小学校の先生へ

天方 てい子

三学期になりますと私は、お弁当の後とか何かの折にふれぼんやり考えこみ、ハッと我にかえる事があります。何を考へてたのかとふりかえりますと「この子も又去つて行く」と形容の出来ない、淋しさの思いにふけていたのでありました。雛祭の行事も済み、ほつと一息つく頃になりますと涙さえこぼれて来ます。そして残る幾日かを自分に出來得る限りの能力を絞り出して、子供の喜ぶ楽しい行事をプランに盛りこみ、名残を惜しむのであります。

お話は云うに及ばず、幻燈に人形芝居、影絵、さては先生演出による演劇、園内の放送設備を利用してほんもののプロデューサー顔負けの園内放送。歌あり、音楽あり、物語りあり